

# 『長期入院患者の意思決定における多職種連携サポートの必要性に関する研究』についてのお知らせ

## 1. 実施目的について

当院に長期にわたって入院している患者さんの中には、患者さんご本人の状態や、ご家族の状況により、患者さんやご家族が治療方針などで意思決定することが困難なケースがみられます。そうした場合に、患者さんやご家族、さらには病棟で患者さんを看護、介護する医療者も含めて多職種で連携してサポートする必要性があると考えています。今回、その必要性を検討し、今後の意思決定に際するサポート体制を考察します。

## 2. 実施内容について

方法は、2010年1月から2016年9月末までの期間に、当院に長期入院中の患者さんの中で意思決定に際し、多職種で連携してサポートした方のカルテをしらべ、その方のもともとの病気の状態や、意思決定が必要となった理由、ご家族の状況、多職種でどのように連携してサポートしたか、その後の経過などについてまとめ、その必要性を検討します。

カルテを実際に調べる作業を行う期間は、これより平成2017年3月末までです。

## 3. 研究代表者

脇坂 晃子（医王病院 小児科 医師）

## 4. 調査対象期間

2010年1月1日から2016年9月30日までを調査対象期間とします。

## 5. 個人情報およびプライバシーの保護について

それぞれの患者さまの個人情報は、個人が特定できないデータに変換された上で、データファイルが作成、保存、分析されます。この研究により、個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。

この研究の成果は、個人が特定できないデータとして、学術的な場でのみ公表します。

## 6. 本研究に関するお問い合わせ

上記のように、個人情報やプライバシーを保護した状態であっても、調査対象となることを拒否される場合、また、この研究についてご質問がある場合には、下記までお問い合わせください。

医王病院 小児科 脇坂晃子

国立病院機構 医王病院病院長 駒井清暢